

斜里川河口付近の白鳥について

今 野 重 郎 ^{*1}

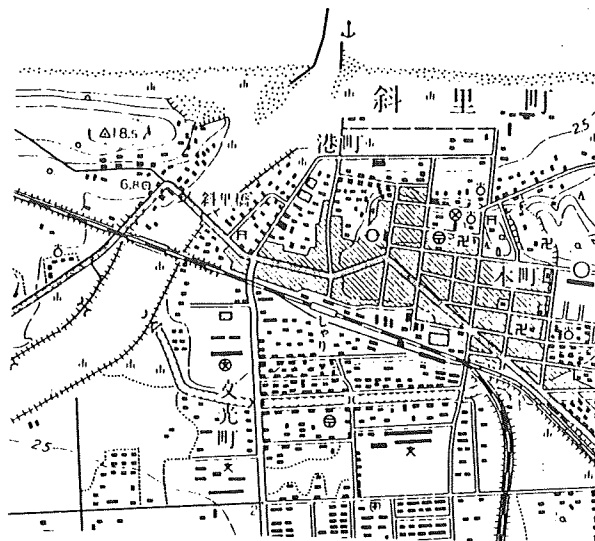
オホーツク海に注ぐ斜里川の河口近く、旧国道 244 号の斜里橋及び隣接する国鉄釧網線の鉄橋付近で見られるオオハクチョウについては1971(昭和47)年以来調査記録が断片的に報じられている。^{*2} 今年調査回数が比較的多目であったが、定時定点調査とは日時が一致していないので別報として報告する。3月初旬迄のものは純白の白鳥であり2月にはいつてからの増加は涛沸湖の全面的な結氷と無関係ではないように思える。3月中旬以後には頭部や首が赤茶色に染まった鳥が混在するようになった。

この汚染された白鳥は、春季には近年道東の総ての湖沼川において観察されるもので、本州で越冬して北上してきたものである。

調査期間中の総ての鳥は人口給餌に馴れており、15メートル以上の上空を横切る橋上に止る人影にさえ接近してくる程であった。以前の鳥の多くは国鉄橋付近で生活しており人が近づくのをおもなかつた。

最早や人間を度外視して越冬することが困難になったか、白鳥の方が様変わりして、積極的に人間に接近して恩恵にあずかるうとしているのであろうか。中小の都市内及びその周辺の湖沼川において白鳥の姿を見掛けない所は少いと言ってよい程である。

調査域の上流部と国道橋との間に恰好な休憩域の存在を示唆するような白鳥の飛行を2度目撃したが堤防や積雪に災されて詳かになし得なかつた。

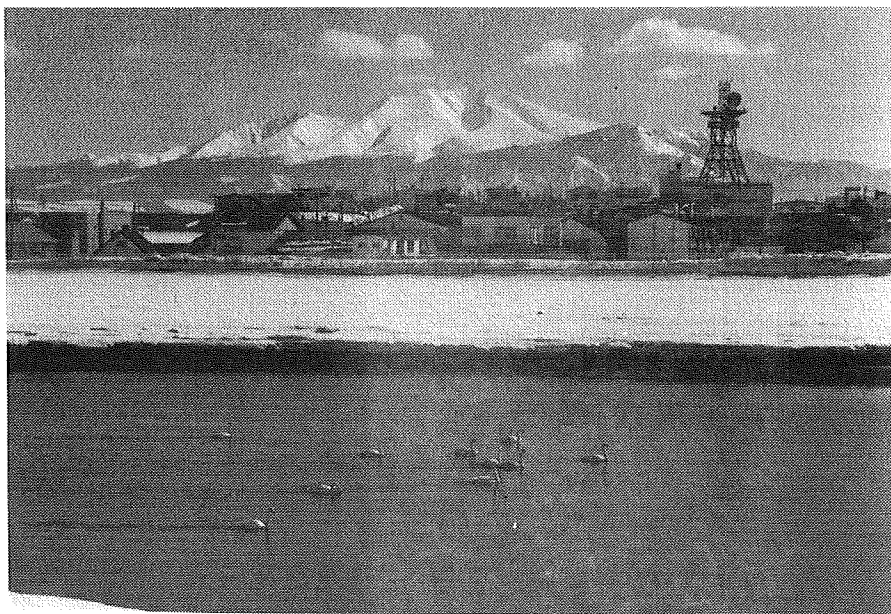


調査地・斜里川河口部

*1 Konno Shigeo 099-36 Hokkaido Sharigun Koshimizucho Asahi I

*2 網走市立北浜中学校“白鳥”No.5,6,7,8. 日本白鳥の会“日本の白鳥”

デ ー ト					数				備 考	
年	月	日	時	天 気	全 数	上 手		下 手		
						成長	幼鳥	成長		幼鳥
1956	1	8			5			5		全部真白
		9			5			5		
		13	09:50	☉ ^マ	8			8		
		22	11:00	☉	8			8		
		25	10:40	☉	0					流水接岸。全面結水
	2	3	09:10	①	23	2	0	19	2	全部真白な鳥
		10	09:20	☉ ^マ	22			18	4	
		17	10:35	①	22			18	4	飛行中のもの3A
		26	10:15	○	18					はっきり数えなかった。
	3	2	10:30	○	21			17	4	
		7		①	0					流水流入
		10		☉	21			17	4	橋下100m下流迄開水
		29	12:30	①	5			5	0	2羽かなり汚れている。
	4	5	09:10		0					



1986年3月2日(右手が斜里橋)

今野・玉田 …… 北海道東部地域での白鳥調査 1984、1985

岡本・玉田 …… 佐呂間湖柴浦地区の汚れオオハク 1982